

常磐年日

今年は二回開催と決ら

平市との
話合つく 初レースは十一月に

四市競輪

平競輪場を借りて運営し赤字財政の懸念の一方として内郷、常磐、勿来、磐城の四市で組成した石城競輪組合(管理者は沼田内郷市長)では、平市と開催月などについて話し合を進めていたが、このほど本年度は三回組合で開催することに決った。この結果取りあえず十月は平市で開き、十一月は組合側で開くことになりたが、十二月以降の開催についてはまだ調整が求められる。これで磐城の四市競輪も十一月から実現するわけだが、ひとつの開催回数についても平市は回数を示したのに反して、組合側は回数を主張するなど最初から喧嘩しあみせてくるので、今後の開催日問題でも正月などのよる収益の多くが組合で生産するなどして相当の離隔はまぬがれないとみられる。なほいの組合競輪の開催によって組合参加市では年内に各30万円程度の収益があるものとおもわれているが、平市側は逆に一千万円前後の収入減となる。

一流会社に採用

東京から女子の求人

保安技術講習会終了者

資金の調達協議

女藤八銅像再建協定

東京から女子の求人
保安技術講習会終了者

防火訓練などを実施

東京から女子の求人
保安技術講習会終了者

